

■景域に含まれる支庁及び市町村

空知支庁 芦別市・岩見沢市・滝川市・砂川市・赤平市・深川市・沼田町・秩父別町・北竜町・上砂川町  
 奈井江町・月形町・北村・美唄市・歌志内市・三笠市・栗山町・栗沢町・由仁町・長沼町・南幌町  
 夕張市・新十津川町・雨竜町・妹背牛町・幌加内町・浦臼町  
 石狩支庁 浜益村・厚田村・当別町・新篠津村

■景域を構成する景観ゾーン

17馬追丘陵周辺田園景観ゾーン 18夕張山地西部都市景観ゾーン 19空知平野都市景観ゾーン  
 20増毛・樺戸自然景観ゾーン 21暑寒別西部湾岸景観ゾーン

■景域における現況

観点 要因・背景	自 然	田 園	ま ち	広域湾岸景観・広域沿道景観・広域流域景観 (自然・田園・まちの関係性)	北 国 ら し さ の 創 出 (その他・活動等)
場所的要因 位置 地形 植生	○夕張山地はふところの深い山間地域で夕張ダムや桂沢ダムをはじめとするいくつかのダム湖がある ○雄冬岬周辺や浜益、厚田間の海岸線では、断崖や柱状節理など険しい海岸景観が展開している ○雨竜沼湿原などの優れた自然資源がある	○石狩川水系を軸とする大平野には、水田地域が広がっている ○長沼・南幌周辺の田園地帯では、水路や防風林が見られ、背景には馬追丘陵が連なっている	○夕張山地には、山間部の谷あいには市街地が形成されている ○日本海沿岸は、海岸段丘の低地部分に漁村集落が点在し、小規模な漁村景観を形成している	○馬追丘陵周辺部には、ゴルフ場や公園などのレクリエーション施設も多く、都市圏に近いところから多くの人に親しまれている	
空間構成的 要因 広がり 土地利用 まとまり	○浦臼、月形周辺では、泥炭地や三日月湖などが分布しており、植物群や水鳥の群などが見られる	○小河川の流域沿いの平地や山間地に水田・畑作の農地が点在し、里山的土地利用を創り出している	○国道12号を軸として、岩見沢・美唄・砂川・滝川などの市街地が形成され、道都圏に連なる都市圏となっている	○札幌と旭川を結ぶ高速道路が沿道軸景観を形成している	
人文的社会的 背景 産業経済 生活文化	○暑寒別岳を中心とする増毛山地が広域的なシンボルである ○ピンネシリ山系は、市街地の背景になっている地域のシンボルでもある	○農家周辺には、屋敷林が見られる	○奈井江、砂川で見られる火力発電所は地域のランドマークとなっている	○石狩川流域沿いには、桜堤や河川敷公園などの整備が進められている	○鉄道沿いには、防風・防雪林が連なっている ○夕張山地はかつて日本でも有数の炭鉱地帯であったが、エネルギーの事情の変化により、現在では廃坑となっており、その跡地及び関連施設が産業遺跡として残されている
時間的歴史的 背景 歴史性 季節 時間	○初秋や晩春、初雪の冠雪した山並みは地域の季節的なシンボルとなっている	○秋の収穫作業は季節の風物詩となっている ○水田稲作の北上の歴史を示す遺跡が残されている	○滝川の旧拓銀、深川の鷺田牧場をはじめとして、駅前の旅館、歴史的建造物が各市町村に残されている ○産炭地市街地景観は、かつての隆盛の面影を留めているが適切に管理されていないものもある	○沼田町などには街道沿いの宿場、駅通所跡などが残されている	○農地には冬になると一面の雪原となり雪解け時期には雪が見られる
典 型 的 景 観 資 源	○暑寒別天売焼尻国定公園(暑寒別岳・群別岳・雄冬山・雨竜沼湿原・雄冬岬) ○富良野芦別道立自然公園(夕張岳・桂沢湖・シューバロ湖) ○ピンネシリ山地 ○道民の森 ○宮島沼 ○夕張川 ○石狩川 ○空知川 ○雨竜川 ○日本海沿岸の海岸線	○石狩平野の水田地帯 ○馬追丘陵の田園地帯 ○長沼・由仁の水田地帯 ○南幌周辺の田園地帯と防風林 ○美唄周辺の田園地帯と防風林	○国道12号沿いに連なる市街地(岩見沢・美唄・奈井江・砂川・滝川) ○幹線道路沿いのまとまりのある市街地(新篠津・月形・浦臼・新十津川) ○山間部にある市街地 ○海岸線にある漁村集落	○炭坑跡の産業遺跡 ○広域軸としての役割を果たす沿道・沿線 ・道央自動車道/国道12号/国道275号/国道38号 ・JR函館本線/JR根室本線	○美唄市炭坑メモリアル公園 ○アルテピアッツァ美唄 ○ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 ○北海幹線(農業用水路)

■景域の景観特性・課題・景観づくりの取り組み方向

観点 要因・背景	自 然	田 園	ま ち	広域湾岸景観・広域沿道景観・広域流域景観 (自然・田園・まちの関係性)	北 国 ら し さ の 創 出 (その他・活動等)
景 域 の 景 観 特 性	○ピンネシリ・暑寒別山系、夕張山系の地域ランドマーク性は前景の水田風景に対して際立っている	○300間角の格子状道路パターンに支配される水田風景と防風林の組み合わせはこの地域独特の風景 ○石狩平野に展開する幾何学模様の広大な水田風景の広がり ○市街地の背景には、細やかな樹園地などの里山風景が広がる	○石狩川左岸の里山を背にして、空知地域の都市軸が形成されている ○まちの入口、中心、出口を意識させられる市街地構成	○国道12号線都市軸の脇街道に、地域産業の今を支え、またかつてを支えた環境資産が連結されており、多様なツーリズム体験が可能 ○石狩川を渡る際に見ることができる、河幅のある河と河畔林の連なり	○生活空間を貫く、用水路等の農業基盤施設風景 ○稲作作業で見られる野焼きハサバ掛け、刈り取り後の水田風景 ○市街地の背景には、細やかな樹園地などの里山風景が広がる
景観づくり の 課 題	○道都圏に身近な原生的自然の保全・管理・活用 ○道民の森整備、海岸線の保全・管理・活用、残された湿原 ○湖沼群の保全・管理・活用	○大規模な水田地帯の景観整備(防風林、農家周辺環境等) ○農地と市街地の境界・緑辺部の景観処理 ○道央圏の都市居住者を対象とした農村交流型の観光レクリエーション拠点の整備	○幹線道路沿いに連担する市街地及び農地を浸食する住宅地のスプロール景観制御市街地の街並み景観形成、住宅地の修景、沿道景観形成等	○平野の東西に位置する山間地にある地域の農業用に建設された数多くのダム湖の準自然湖としての多目的活用、周辺をも含めた野外レクリエーション地としての整備と修景	○かつての炭鉱遺跡の産業歴史学習資源としての活用と環境整備、景観演出
景観づくり の 取 り 組 み 方 向	○石狩川流域の低地帯に連担する市街地を東西に挟む夕張山地、ピンネシリ山系と三日月湖、河跡湖など身近な自然をまもる	○石狩川中流域に広がる水田地帯で農地を縁取る防風林、農家周辺の屋敷林などの環境をととのえる	○国道12号、国道275号で結ばれた地域構成において連続する街並みを想定した市街地景観整備を行う	○夕張山地に見られるダム湖、日本海沿岸などを準自然地域として活用した都市近郊レクリエーションに取り組み景観づくりをすすめる	○夕張山地で見られる産炭地、石狩平野の水田地帯に見られる農業構造近代化の農業遺産など産業史探勝ゾーンとして資源を再評価し、活用する景観づくりをすすめる